

鎌倉市由比ヶ浜南遺跡 1204・5205・5208 号墓出土の中世人骨

松下 真実^{*}

【キーワード】：神奈川県、中世人骨、幼小児骨、クリブラ・オルビタリア、刀創

はじめに

神奈川県鎌倉市由比ヶ浜四丁目 1101 番 2 外に所在する由比ヶ浜南遺跡は、県営地下駐車場建設に伴って発掘調査が実施された遺跡である。1995（平成 7）年 3 月から 1997（平成 9）年 9 月にかけての発掘調査で、埋葬人骨遺構と集骨遺構とが検出され数千体の人骨が出土した。集骨された人骨の体数は 3108 体をカウントしたが、正確な体数は不明であり、少なくとも 3108 体は存在するが、実数はおそらく 4000 体に達すると思われる。集骨遺構のうち、158 号墓、5318 号墓、204B 号墓、123 号墓から出土した人骨については人骨所見などをすでに報告した（松下、2002a、2002b）。その後、9 号墓（松下・他、2018）および 10・14・86 号墓（松下・他、2019）、24・25・32 号墓（松下真実・他、2023）、18A 号墓（松下真実・他、2024a）、37 号墓（松下真実・他、2024b）、48B・129・252 号墓（松下真実、2025）から出土した人骨についても報告している。その他の遺構から出土した人骨については、復元作業に時間がかかり、人骨所見の報告ができていない。残りの遺構から出土した人骨の整理作業を現在も継続しており、今後、復元が終了したものから順次報告していく予定である。

今回は、整理作業や復元作業が終わった 1204・5205・5208 号墓出土人骨について、体数や人骨所見を報告する。

資 料

本稿は 1204・5205・5208 号墓から検出された人骨の所見である。人骨は集骨遺構から検出されたもので、一次葬の様相を呈するものは存在しない。人骨を取り上げる際に、番号がつけられているが、人骨を解剖学的に精査して、体数などを検討した（表 1）。人骨番号や性別、年齢などは表 2 に示した。なお、本人骨は考古学的所見から、中世に属する人骨である。

1204・5205・5208 号墓から検出された人骨はすべて頭蓋であることから、頭蓋のみを集めて埋葬した墓である。

1204 号墓からは成人骨が 1 体分（1204-SK-1）、幼児骨は 1 体分（1204-SK-2）の合計 2 体である。

5205 号墓からは、すべて未成人骨の頭蓋であった。そのうち小児骨が 2 体分（5205-SK-1、5205-SK-4）、幼児骨が 2 体分（5205-SK-2、5205-SK-3）の合計 4 体である。

5208 号墓からは、成人骨が 1 体分（5208-SK-1）、幼児骨は 1 体分（5208-SK-2）の合計 2 体である（表 1）。

計測方法は、Martin-Saller（1957）によったが、鼻根部については鈴木（1963）と松下ら（1983）の方法で計測した。なお、年齢区分を表 3 に示した。

表 1 資料数 (Table 1. Number of materials)

	成人			小児	幼児	合計
	男性	女性	不明			
1204	0	1	0	0	1	2
5205	0	0	0	2	2	4
5208	0	1	0	0	1	2
合計	0	2	0	2	4	8

表 2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考
1204-SK-1	女性	熟年	頭蓋のみ
1204-SK-2	不明	幼児 (3~4歳)	頭蓋のみ
5205-SK-1	不明	小児 (7歳前後)	頭蓋のみ、クリブラ・オルビタリア
5205-SK-2	不明	幼児 (4歳前後)	頭蓋のみ
5205-SK-3	不明	幼児 (3~4歳)	頭蓋のみ
5205-SK-4	不明	小児	頭蓋のみ
5208-SK-1	女性	壮年	頭蓋、上部頸椎のみ、刀創
5208-SK-2	不明	幼児 (3歳前後)	頭蓋のみ

表 3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分	年齢	
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳~5歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳~15歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)
	成年	16歳~20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳~39歳 (40歳未満)
	熟年	40歳~59歳 (60歳未満)
	老年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第 14 次発掘調査報告書 (松下、1996) を参照されたい。

所 見

各人骨の残存部は図 2 に示すとおりである。また、各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

1204-SK-1 (女性・熟年)

1. 頭蓋

前頭骨から頭頂骨の前方にかけてと、上顎骨が残存していた。残存部分の保存状態は比較的良好である。前頭結節の発達は良好である。眼窩上縁はやや薄い。鼻骨は広く、鼻根部は扁平である。

縫合は、三主縫合のうち冠状縫合と矢状縫合の観察ができた。冠状縫合、矢状縫合の内板は癒合しており、外板では冠状縫合、矢状縫合ともにやや癒合が進んでいるもののまだ開離している。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅が100mm、上顔高は64mmで、上顔示数は64.00 (V) となり、顔面には低・広上顔傾向が認められる。

眼窩幅は45mm (右)、44mm (左)、眼窩高は31mm (左右) で、眼窩示数は68.89 (右)、70.46 (左) となり、両側とも低眼窩 (chamaekonch) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が18mm、鼻根横弧長は19mm、鼻根彎曲示数は94.74 となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は101mmで、眼窩間示数は17.82 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅はやや広い。計測はできなかったが、観察をおこなったところ、歯槽性突顎の傾向は弱そうである。

下顎骨は左側の筋突起のみが残存していた。保存状態は悪い。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。歯冠はやや小さい。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／ 7 6 5 4 3 2 ① | 1 2 3 4 5 6 7 ／

〔○: 歯槽開存 ／: 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小白歯、5: 第二小白歯、6: 第一大白歯、7: 第二大白歯、8: 第三大白歯〕

咬耗度は Broca の2度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) である。また、歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達良好で、眼窩上縁はやや薄く、歯冠が小さいことから、女性と推定した。年齢は、冠状縫合と矢状縫合の内板は癒合しており、外板では冠状縫合、矢状縫合ともにやや癒合が進んでいるが、まだ開離していることから熟年と推定した。

1 2 0 4 - S K - 2 (幼児・3~4歳)

1. 頭蓋

前頭骨の右側の一部と頭頂骨、後頭骨、右側側頭骨が残存していた。外後頭隆起は発達していない。外耳道は観察できなかった。

縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも開離している。計測はほとんどできなかった。

2. 性別・年齢

年齢は、頭蓋の大きさや側頭骨の形成程度から3~4歳と推定した。性別は不明である。

5 2 0 5 - S K - 1 (小児・7歳前後)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋の保存状態は比較的良好である。外後頭隆起は発達しておらず、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合の観察ができた。三主

縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 171mm、頭蓋最大幅は 133mm、頭蓋長幅示数は 77.78 となり、頭型は中頭型 (mesokran) に属している。また、頭蓋水平周は 483mm、横弧長は 291mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は前頭突起と頬骨弓が欠損しているが、保存状態は比較的良好である。前頭結節の発達は良好で、眉上弓の隆起は弱い。眼窩上壁にはクリブラ・オルビタリアが認められる。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅が 79mm、顔高は 92mm、上顔高は (56) mm で、顔示数は 116.46 (V)、上顔示数は 70.89 (V) となり、顔面には高・狭顔傾向が認められる。

眼窩幅は 39mm (右)、眼窩高は 31mm (右) で、眼窩示数は 79.49 (右) となり、右側は中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は 18mm、鼻高は 42mm で、鼻示数は 42.86 となり、狭鼻 (leptorrhin) に属している。

鼻頬骨角は 147 度で、この角度はやや大きく、顔面扁平示数は 14.46 である。

下顎骨はほぼ完全である。下顎体の高径は高く、下顎枝は幅広く、下顎切痕は浅い。咬筋粗面はやや発達している。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

《永久歯》

$\begin{array}{cccccccc} / & 7 & 6 & / & / & / & \textcircled{2} & 1 \\ / & / & 6 & / & / & / & / & \textcircled{1} \end{array}$	$\begin{array}{cccccccc} 1 & \textcircled{2} & / & / & / & / & 6 & 7 & / \\ 1 & / & / & / & / & / & 6 & / & / \end{array}$
--	--

〔○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

永久歯の咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。

《乳歯》

$\begin{array}{cccc} V & IV & III & / & / \\ V & IV & III & II & / \end{array}$	$\begin{array}{cccc} / & / & / & IV & V \\ / & II & III & IV & V \end{array}$
---	---

(I : 乳中切歯、II : 乳側切歯、III : 乳犬歯、IV : 第一乳臼歯、V : 第二乳臼歯)

乳歯の咬耗度は Broca の 2 度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) ~ 3 度 (咬耗が象牙質まで及ぶ) である。また、歯の咬合形式は鋏状咬合である。

3. 性別・年齢

年齢は、歯根の形成程度と歯の放出状態から 7 歳前後と推定した。性別は不明である。

5205-SK-2 (幼児・4歳前後)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋の保存状態は比較的良好である。外後頭隆起は発達しておらず、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合の観察ができた。三主

縫合は内外両板ともに開離している。なお、前頭縫合が認められる。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 166mm、頭蓋最大幅は 118mm、頭蓋長幅示数は 71.08 となり、頭型は長頭型 (dolichokran) に属している。また、頭蓋水平周は 454mm、横弧長は 251mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は左側の前頭突起と、両側の頬骨弓が欠損しているが、保存状態は比較的良好である。前頭結節の発達は良好で、眉上弓の隆起は弱い。

顔面頭蓋の計測値は、頬骨弓幅が (93) mm、中顔幅は (71) mm、顔高は 83mm、上顔高は 50mm で、顔示数は (89.25) (K)、(116.90) (V)、上顔示数は (53.76) (K)、(70.42) (V) となり、顔面には高・狭顔傾向が認められる。

眼窩幅は 35mm (右)、眼窩高は 30mm (右) で、眼窩示数は 85.71 (右) となり、右側は高眼窩 (hypsikonch) に属している。

鼻頬骨角は 134 度で、この角度はやや大きく、顔面扁平示数は 20.25 である。

下顎骨はほぼ完全である。下顎体の高径は低く、下顎枝はやや幅広く、下顎切痕は浅い。咬筋粗面はやや発達している。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

《永久歯》

\diagup ⑦ 6 \diagup \diagup \diagup ② 1	① ② \diagup \diagup \diagup 6 ⑦ \diagup
\diagdown ⑦ 6 \diagdown \diagdown \diagdown ② 1	① ② \diagdown \diagdown \diagdown 6 ⑦ \diagdown

〔○: 歯槽開存 \diagup : 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小白歯、5: 第二小白歯、6: 第一大白歯、7: 第二大白歯、8: 第三大白歯〕

永久歯には咬耗は認められない。

《乳歯》

V IV III II \diagup	\diagdown II III IV V
V IV III \diagdown \diagdown	\diagup II III IV V

(I : 乳中切歯、II : 乳側切歯、III : 乳犬歯、IV : 第一乳白歯、V : 第二乳白歯)

乳歯の咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。また、歯の咬合形式は缺状咬合である。

3. 性別・年齢

年齢は、歯根の形成程度と歯の放出状態から 4 歳前後と推定した。性別は不明である。

5 2 0 5 - S K - 3 (幼児・3 ~ 4 歳)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

後頭骨と前頭骨の大部分が欠損しており、保存状態は悪い。骨壁が薄く脆弱であるため、頭蓋は土圧により変形している。外後頭隆起は発達しておらず、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察がで

きたが、骨腫は左右ともに認められない。三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも開離している。計測はほとんどできなかった。

(2) 顔面頭蓋

上顎骨のみ残存していた。保存状態は悪い。

下顎骨はほぼ完全である。下顎体の高径は低く、下顎枝は狭く、下顎切痕は浅い。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

《永久歯》

// 6 // // // 1	1 2 // // // 6 //
// 6 // // // 1	// // // // 6 //

[○: 歯槽開存 //: 不明(破損)、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小白歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

永久歯には咬耗は認められない。

《乳歯》

V IV III II //	// II III IV V
V IV III II I	// // III IV V

(I: 乳中切歯、II: 乳側切歯、III: 乳犬歯、IV: 第一乳臼歯、V: 第二乳臼歯)

乳歯の咬耗度は Broca の2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)である。また、歯の咬合形式は鋏状咬合である。

3. 性別・年齢

年齢は、歯根の形成程度と歯の放出状態から3~4歳と推定した。性別は不明である。

5205-SK-4 (幼児)

1. 頭蓋

前頭骨と後頭骨の一部のみが残存していた。保存状態は悪い。前頭結節の発達は良好である。計測はできなかった。

2. 性別・年齢

年齢は、頭蓋の大きさから小児と推定した。性別は不明である。

5208-SK-1 (女性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

左側の頬骨弓を欠損しているが、保存状態はほぼ完全である。外後頭隆起は発達していない。乳様突起は幅広く短い。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。

縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が185mm、頭蓋最大幅は131mm、バジオン・ブレグマ高は

133mmである。頭蓋長幅示数は70.81、頭蓋長高示数は71.89、頭蓋幅高示数は101.53となり、頭型は長頭型・中頭型・尖頭型 (dolicho-,ortho-,akrocran) に属している。また、頭蓋水平周は519mm、横弧長は301mmである。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋もほぼ完全である。前頭結節の発達は良好である。眉上弓の隆起は弱く、眼窩上縁は薄い。鼻根部は扁平である。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が93mm、頬骨弓幅は(127) mm、中顔幅は96mm、顔高は111mm、上顔高は64mmで、顔示数は(87.40) (K)、115.63 (V)、上顔示数は(50.39) (K)、66.67 (V) となり、コルマンの示数値はやや大きくなるが、これは頬骨弓幅がかなり小さいことによるので、顔面の高径が大きいわけではない。顔高や上顔高は低い。

眼窩幅は42mm (左右)、眼窩高は36mm (右)、35mm (左) で、眼窩示数は85.71 (右)、83.33 (左) となり、右側は高眼窩 (hypsikonch)、左側は中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は27mm、鼻高は49mmで、鼻示数は55.10となり、低鼻 (chamaerrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が17mm、鼻根横弧長は18mm、鼻根彎曲示数は94.44となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は96mmで、眼窩間示数は17.71となり、顔の幅に対して、眼窩間幅はやや広い。鼻骨最小幅は7mmで、前頭突起水平傾斜角は106度を示し、前頭突起の向きは前額方向である。鼻頬骨角は151度で、この角度は大きく、顔面扁平示数は12.77である。

側面角は、全側面角が82度、鼻側面角が77度、歯槽側面角は65度で、歯槽性突顎傾向が認められる。

下顎骨はほぼ完全である。下顎体の高径はやや高く、下顎枝の幅はやや狭く、高さは高い。下顎切痕は浅い。下顎角は外反している。下顎骨の右側下顎底に2ヶ所刀創と頭頂骨の矢状縫合の前方に擦り傷が認められる。また、第二頸椎の棘突起から左側横突起にかけてと第三頸椎の椎体下方に水平方向の刀創が認められる。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8
8	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8

〔番号は歯種〕

〔1:中切歯、2:側切歯、3:犬歯、4:第一小白歯、5:第二小白歯、6:第一大臼歯、7:第二大臼歯、8:第三大臼歯〕

咬耗度はBrocaの1度(咬耗がエナメル質のみ)で、咬耗は弱い。

3. 性別・年齢

性別は、外後頭隆起は発達しておらず、前頭結節の発達は良好で、眉上弓の隆起が弱いことから女性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板とも開離していることから壮年と推定した。

5208-SK-2 (幼児・3歳前後)

1. 頭蓋

前頭骨、頭頂骨、後頭骨および右側岩様部が残存していた。保存状態は悪い。観察はほとんどでき

なかった。

2. 性別・年齢

年齢は、頭蓋の大きさから3歳前後と推定した。性別は不明である。

特殊所見

1. 刀創

5208-SK-1の下顎骨の右側下顎底に2ヶ所の刀創と頭頂骨の矢状縫合の前方に傷が認められる。また、5208-SK-1の第二頸椎の棘突起から左側横突起にかけてと第三頸椎の椎体下面に水平方向に刀創が認められる。これらの刀創から、被葬者は首の上部（上部頸部）から下顎右側部を切られたようである。頭蓋と上部頸椎しか残存していないので、四肢骨にも刀創などの傷があったのかは不明である。

また、頭頂骨にみられる傷は、一見刀創のようにみえるが、頭蓋外板が削られた切面は、頭蓋外板の色とは異なっており、白色を呈していることから、この切創は死亡時ではなく、後世にできたものと思われる。

2. クリブラ・オルビタリア（眼窩篩）

5205-SK-1（小児・7歳前後）には両側の眼窩上壁にクリブラ・オルビタリアが認められた。これまで報告した由比ヶ浜南遺跡出土人骨をみると、下表のとおり18A号墓ではSK-2（男、壮年）とSK-15（小児）に（松下真実・他、2024a）、37号墓ではSK-3（女、1小児）とSK-18（小児）に（松下真実・他、2024b）、129号墓ではD-2（幼児、左側）（松下真実、2025）に、252号墓ではSK-8（女、壮年、右側）（松下真実、2025）にみられ、いずれも幼小児と若年者である。

表4 クリブラ・オルビタリア（由比ヶ浜南）(Table 4. Cribra orbitalia)

墓番号	人骨番号	性別	年齢	部位（眼窩上壁）
18A号墓	SK-2	男性	壮年	右側のみ（軽症）
18A号墓	SK-15	—	小児（12歳）	両側
37号墓	SK-3	女性	小児（14歳）	両側
37号墓	SK-18	—	小児（6歳）	両側
129号墓	D-2	—	幼児（3～4歳）	左側のみ
252号墓	SK-8	女性	壮年	右側（左側は観察不可）
5205号墓	SK-1	—	小児（7歳前後）	両側

要約

神奈川県鎌倉市にある由比ヶ浜南遺跡の1204、5205、5208号墓の集骨遺構から出土した人骨の整理、復元をおこない、体数と人骨所見を記載した。その結果を要約すると次のとおりである。

1. 本人骨群は、考古学的所見から、中世に属する人骨群である。
2. 1204、5205、5208号墓から出土した骨は頭蓋のみで、1204墓からは2体分、5205墓から

- は4体分、5208墓からは2体分で、合計8体分の頭蓋である。
3. 1204号墓から出土した人骨は2体分(女性1、幼児1)である。1204-SK-1(女性)の上顔示数は64.00(V)で、顔面には低・上広顔傾向が認められる。
 4. 5205号墓から出土した人骨は4体分(小児2、幼児2)である。5205-SK-1(小児・7歳前後)の頭蓋長幅示数は77.76となり、頭型は中頭型に属している。5205-SK-1(小児)の計測値は、中顔幅100mm、上顔高64mm、上顔示数は64.00(V)で、顔面には低・上広顔傾向が認められる。5205-SK-2(幼児)の頭蓋長幅示数は71.08で、頭型は長頭型に属している。5205-SK-2(幼児)の計測値は、頬骨弓幅(93)mm、中顔幅(71)mm、顔高83mm、上顔高50mmで、顔示数(89.25)(K)、(116.90)(V)、上顔示数(53.76)(K)、(70.42)(V)となり、顔面には高・狭顔傾向が認められる。
 5. 5208号墓から出土した人骨は2体分(女性1、幼児1)である。5208-SK-1(女性)の頭蓋長幅示数は70.81で、頭型は長頭型に属している。5208-SK-1の計測値は、顔長93mm、頬骨弓幅(127)mm、中顔幅96mm、顔高111mm、上顔高64mmで、顔示数は(87.40)(K)、115.63(V)、上顔示数は(50.39)(K)、66.67(V)となり、コルマンの示数値はやや大きくなるが、これは頬骨弓幅がかなり小さいため、顔面の高径が高いわけではない。
 6. 5208-SK-1(女性)では、下顎骨の右側下顎底2ヶ所に刀創が認められる。また、第二頸椎の椎弓左側部と第三頸椎の椎体下面に水平方向の刀創が認められ、第三頸椎体は切断されている。
 7. クリブラ・オルビタリア(眼窩篩)が5205-SK-1(小児)で両側の眼窩上壁に認められた。

《参考文献》

1. Martin-Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1. Gustav Fisher Verlag, Stuttgart: 429-597.
2. 松下真実・松下孝幸、2023: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡 24・25・32号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第18号: 7-48
3. 松下真実・松下孝幸、2024a: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡 18A号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第19号: 61-121
4. 松下真実・松下孝幸、2024b: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡 37号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第19号: 122-174
5. 松下真実、2025: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡 48B・129・252号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第20号: 29-78
6. 松下孝幸・分部哲秋・石田肇・内藤芳篤・永井昌文、1983: 山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡第7次発掘調査概報(豊北町埋蔵文化財調査報告2): 19-30.
7. 松下孝幸、1996: 土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集): 24-50.
8. 松下孝幸、2002a: 神奈川県鎌倉市由比ヶ南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉: 1-99.
9. 松下孝幸、2002b: 鎌倉市由比ヶ南遺跡集骨墓出土の中世人骨の埋葬と個体数および受傷人骨。神奈川県・鎌倉市

由比ヶ南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉：101-134.

10. 松下孝幸・松下真実、2018：鎌倉市由比ヶ浜南遺跡9号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第13号：19-34.
11. 松下孝幸・松下真実、2019：鎌倉市由比ヶ浜南遺跡10・14・86号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第14号：17-58
12. 鈴木 尚、1963：日本人の骨。岩波書店、東京。

* Masami MATSUSHITA [土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム]

表5 脳頭蓋 (mm) (Calvaria)

	1204	1204	5202	5202	5202	5208	
	SK-1	SK-2	SK-1	SK-2	SK-3	SK-1	
	女性					女性	
	熟年	3~4歳	7歳前後	4歳前後	3~4歳	壮年	
1.	頭蓋最大長	-	-	171	166	-	185
8.	頭蓋最大幅	-	-	133	118	117	131
17.	バジオン・プレグマ高	-	-	-	-	-	133
8/1	頭蓋長幅示数	-	-	77.78	71.08	-	70.81
17/1	頭蓋長高示数	-	-	-	-	-	71.89
17/8	頭蓋幅高示数	-	-	-	-	-	101.53
1+8+17/3	頭蓋モズルス	-	-	-	-	-	149.67
5.	頭蓋底長	-	-	-	-	-	96
9.	最小前頭幅	91	-	88	83	-	92
10.	最大前頭幅	109	-	105	97	103	108
11.	両耳幅	-	-	107	94	-	121
12.	最大後頭幅	-	-	114	94	-	107
13.	乳突幅	-	-	92	(81)	-	97
7.	大後頭孔長	-	-	-	-	-	36
16.	大後頭孔幅	-	-	-	23	-	28
16/7	大後頭示数	-	-	-	-	-	77.78
23.	頭蓋水平周	-	-	483	454	-	519
24.	横弧長	-	-	291	289	-	301
25.	正中矢状弧長	-	-	-	351	-	383
26.	正中矢状前頭弧長	126	-	122		-	122
27.	正中矢状頭頂弧長	-	-	122		-	117
28.	正中矢状後頭弧長	-	123	-	112	98	144
29.	正中矢状前頭弦長	110	-	105		-	108
30.	正中矢状頭頂弦長	-	109	108		-	111
31.	正中矢状後頭弦長	-	-	-	94	86	111
29/26	矢状前頭示数	87.30	-	86.07		-	88.53
30/27	矢状頭頂示数	-	88.62	88.53		-	94.87
31/28	矢状後頭示数	-	-	-	83.93	87.76	77.08

表6 顔面頭蓋 (mm、度) (Facial skeleton)

		1204	5202	5202	5208
		SK-1	SK-1	SK-2	SK-1
		女性			女性
		熟年	7歳前後	4歳前後	壮年
40.	顔長	-	-	-	93
41.	側顔長	-	65		70
42.	下顔長	-	-	-	101
43.	上顔幅	100	91	84	103
45.	頬骨弓幅	-	-	(93)	(127)
46.	中顔幅	100	79	(71)	96
47.	顔高	-	92	83	111
48.	上顔高	64	(56)	50	64
47/45	顔示数 (K)	-	-	(89.25)	(87.40)
48/45	上顔示数 (K)	-	-	(53.25)	(50.39)
47/46	顔示数(V)	-	116.46	(116.90)	115.63
48/46	上顔示数(V)	64.00	70.89	(70.42)	66.67
40+45+47/3	顔面モズルス	-	-	-	110.33
50.	前眼窩間幅	18	-	-	17
44.	両眼窩幅	101	-	-	96
50/44	眼窩間示数	17.82	-	-	17.71
51.	眼窩幅 (右)	45	39	35	42
	(左)	44	-	-	42
52.	眼窩高 (右)	31	31	30	36
	(左)	31	31	-	35
52/51	眼窩示数(右)	68.89	79.49		85.71
	(左)	70.46	-	85.70	83.33
54.	鼻幅	-	18	-	27
55.	鼻高	47	42	-	49
54/55	鼻示数	26	42.86	-	55.10
55 (1) .	梨状口高	25	-	-	-
56.	鼻骨長	8	-	-	-
57.	鼻骨最小幅	-	-	-	7
57(1).	鼻骨最大幅	-	-	-	-
60.	上顎歯槽長	-	-	-	(52)
61.	上顎歯槽幅	-	58	-	64
62.	口蓋長	-	-	-	43
63.	口蓋幅	-	-	-	40
64.	口蓋高	-	-	-	13
61/60	上顎歯槽示数	-	-	-	123.08
63/62	口蓋示数	-	-	-	93.02
64/63	口蓋高示数	-	-	-	32.50
72.	全側面角	-	-	-	82
73.	鼻側面角	-	-	-	77
74.	歯槽側面角	-	-	-	65

() : 推定値

表7 鼻根部 (mm、度) (Nasal root)

	1204	5202	5202	5208	
	SK-1	SK-1	SK-2	SK-1	
	女性			女性	
	熟年	7歳前後	4歳前後	壮年	
50.	前眼窩間幅	18	-	-	17
50 A.	鼻根横弧長	19	-	-	18
50/50A	鼻根彎曲示数	94.74	-	-	94.44
57.	鼻骨最小幅	8	-	-	7
44.	両眼窩幅	101	-	-	96
50/44	眼窩間示数	17.82	-	-	17.71
a.	前頭突起上幅(右)	16	-	-	10
	(左)	14	-	-	9
b.	前頭突起水平傾斜角	-	-	-	106
c.	G - N 投影距離	-	3	3	1
d.	鼻根角	-	-	-	-
e.	G - R 距離	-	-	-	94
f.	垂線高	-	-	-	12
f/e	鼻根陷凹示数	-	-	-	12.77
77.	鼻頬骨角	-	147	134	151
Fa	f m o 間距離	-	83	79	-
Fh	垂線高	-	12	16	-
Fh/Fa	顔面扁平示数	-	14.46	20.25	-

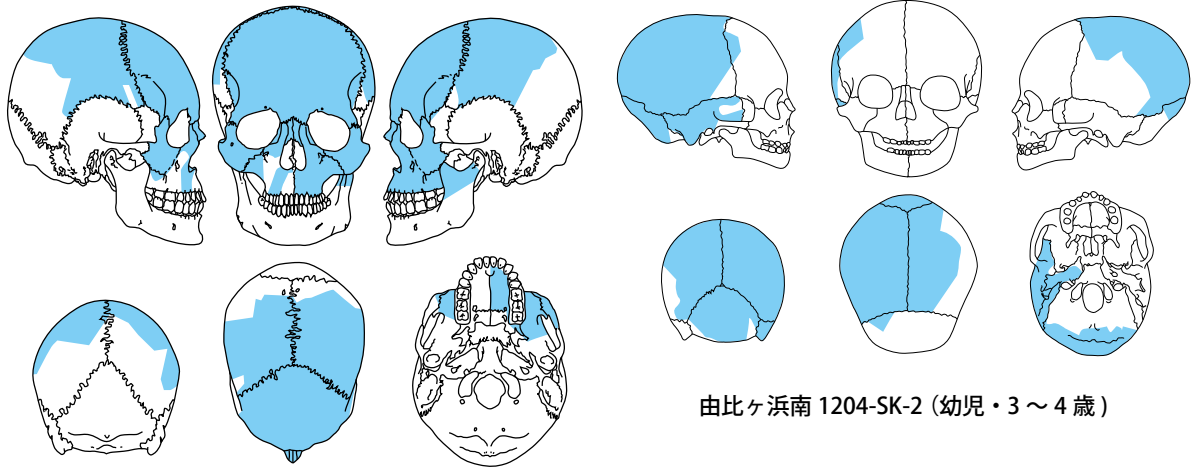
表8 下顎骨(mm、度)(Mandibula)

		5202	5202	5202	5208
		SK-1	SK-2	SK-3	SK-1
		7歳前後	4歳前後	3~4歳	女性 壮年
65	下顎関節突起幅	(95)	-	-	115
65(1).	下顎筋突起幅	(78)	-	77	96
66	下顎角幅	-	71	75	-
67	前下顎幅	42	37	37	49
68	下顎長	-	43	40	-
68(1).	下顎長	-	-	75	110
69	オトガイ高	-	24	21	32
69(1).	下顎体高	(右) 22	20	17	-
		(左) 20	20	16	31
69(2).	下顎体高	(右) -	-	-	25
		(左) -	-	-	24
70	枝高	(右) -	-	38	56
		(左) -	-	37	-
70(1).	前枝高	(右) (44)	-	37	59
		(左) 44	38	37	60
70(2).	最小枝高	(右) 34	32	29	-
		(左) 35	33	31	49
70(3).	下顎切痕高	(右) 11	-	8	13
		(左) 10	-	9	12
71(1).	下顎切痕幅	(右) 32	-	24	38
		(左) 30	-	24	37
71	枝幅	(右) -	27	25	34
		(左) 33	27	25	35
71a.	最小枝幅	(右) -	27	25	34
		(左) 33	27	25	35
79	下顎枝角	(右) -	-	135	132
		(左) 126	-	135	-
66/65	下顎幅示数	-	-	-	-
68/65	幅長示数	-	-	-	-
68(1)/65	幅長示数	(右) -	-	-	95.65
69(2)/69	下顎高示数	(右) -	-	-	78.13
		(左) -	-	-	75.00
71/70	下顎枝示数	(右) -	-	65.79	60.71
		(左) -	-	67.57	-
71a/70(2)	下顎枝示数	(右) -	84.38	86.21	-
		(左) 94.29	81.82	80.65	71.43
70(3)/71(1)	下顎切痕示数	(右) 34.38	-	33.33	34.21
		(左) 22.73	-	37.50	34.21

() : 推定値

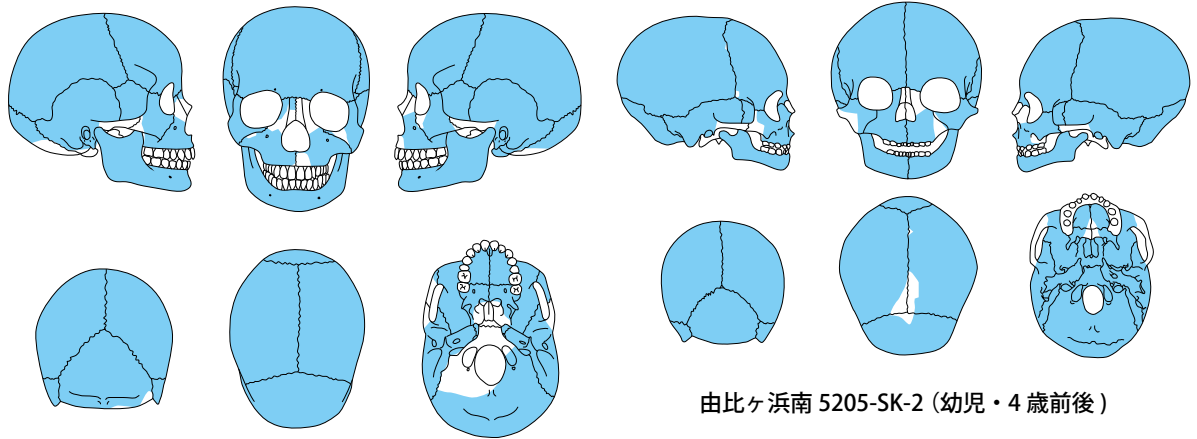
表9 形態小変異 (Non-metric crania variants)

	1204		1204		5202		5202		5202		5208	
	SK-1		SK-2		SK-1		SK-2		SK-3		SK-1	
	女性 熟年		3~4歳		7歳前後		8歳前後		3~4歳		女性 壮年	
	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左
1. Medial palatine canal (内側口蓋管)	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
2. Pterygospinous foramen (翼棘孔)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-
3. Hypoglossal canal bridging (舌下神経管二分)	/	/	/	/	/	/	/	+	/	/	-	-
4. Clinoid bridging (床状突起間骨橋)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5. Condylar canal absent (顎間欠如)	/	/	/	/	/	-	+	+	/	/	/	/
6. Tympanic dehiscence, Foramen of Huschke(>1mm) (フシケ孔、鼓室骨裂孔)	/	/	/	/	-	-	+	+	+	-	-	-
7. Jugular foramen bridgin	/	/	/	/	/	-	-	-	/	-	/	-
8. Precondylar tubercle	/	/	/	/	/	/	-	-	/	-	-	-
9. Supre-orbital foramen (incl.frontal foramen) (眼窩上孔)	-	-	/	/	+	-	-	-	/	-	+	-
10. Accessory intraorbital foramen (副眼窩下孔)	-	-	/	/	-	-	-	-	/	-	+	+
11. Zygo-facial foramen absent	-	-	/	/	-	-	-	-	/	-	-	-
12. Aural exostosis (外耳道骨腫)	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
13. Metopism (前頭縫合)	-	-	/	/	-	-	+	+	-	-	-	-
14. Os incae (インカ骨)	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. Ossicle at the lambda (ラムダ小骨)	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
16. Parietal notch bone (頭頂切痕骨)	/	/	/	/	-	-	-	-	/	/	-	+
17. Transverse zygomatic suture (>5mm)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-
18. Asterionic ossicle	/	/	/	/	-	-	-	-	/	/	-	-
19. Occipitomastoid ossicle	/	/	/	/	+	-	-	-	/	/	-	-
20. Epipteric ossicl	/	/	/	/	-	-	-	-	/	/	-	-
21. Frontotemporal articulation	/	/	/	/	-	-	-	-	-	/	-	-
22. Biasterionic suture (>10mm)	/	/	/	/	/	/	-	-	/	/	-	-
23. Mylohyoid bridging (顎舌骨筋神経溝骨橋)	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
24. Accessory mental foramen (副オトガイ孔)	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
25. Mandibular torus (下顎隆起)	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
26. 滑車上孔 (上腕骨)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/



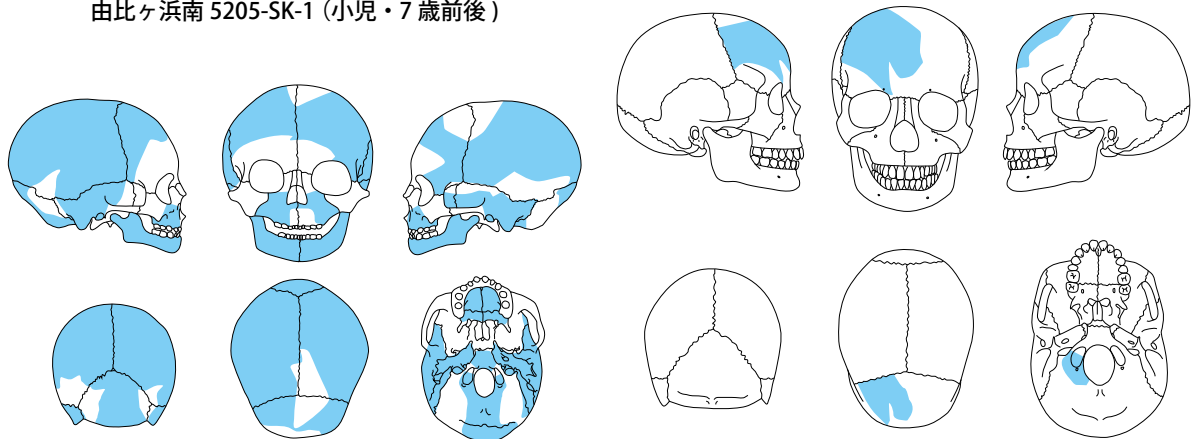
由比ヶ浜南 1204-SK-1 (女性・熟年)

由比ヶ浜南 1204-SK-2 (幼児・3～4歳)



由比ヶ浜南 5205-SK-1 (小児・7歳前後)

由比ヶ浜南 5205-SK-2 (幼児・4歳前後)

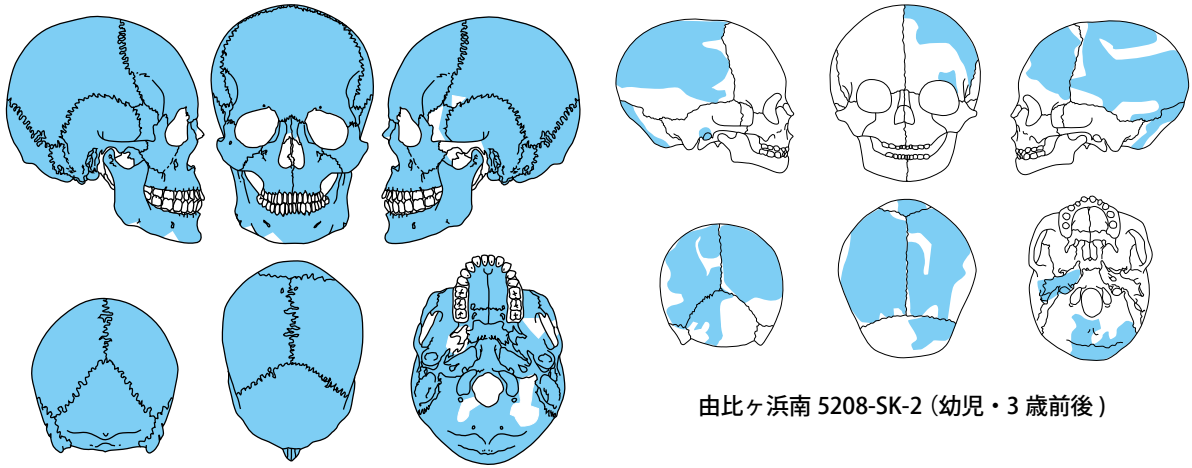


由比ヶ浜南 5205-SK-3 (幼児・3～4歳)

由比ヶ浜南 5205-SK-4 (小児)

図2 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

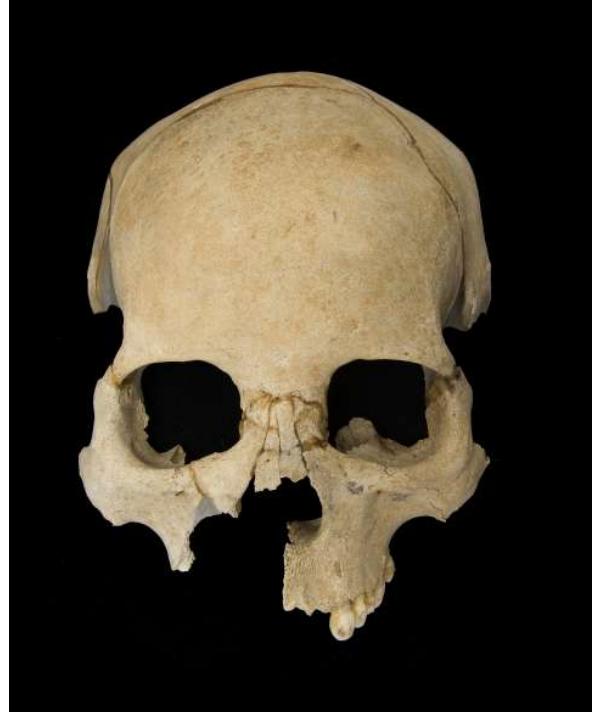


由比ヶ浜南 5208-SK-1 (女性・壮年)

由比ヶ浜南 5208-SK-2 (幼児・3歳前後)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 1204-SK-1 (女性・熟年)

(The 1204-SK-1 from the Yuigahama-minami site, mature female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



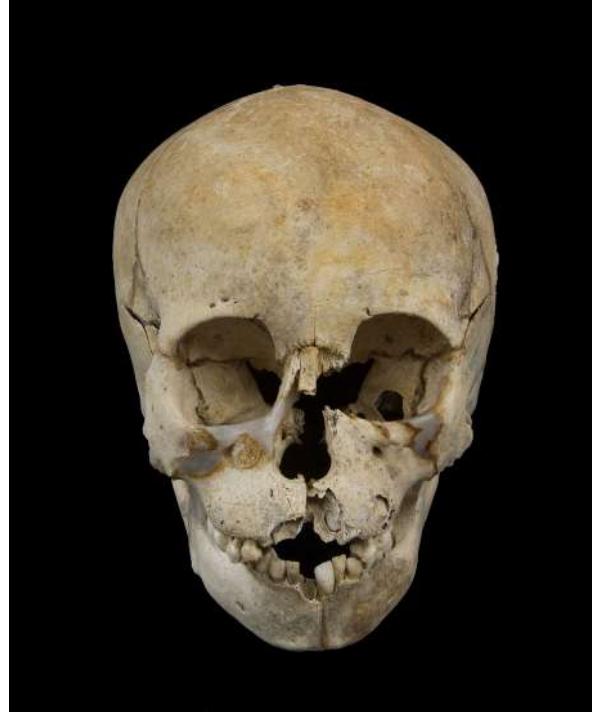
頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 1204-SK-2 (幼児・3～4歳)

(The 1204-SK-2 from the Yuigahama-minami site, infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



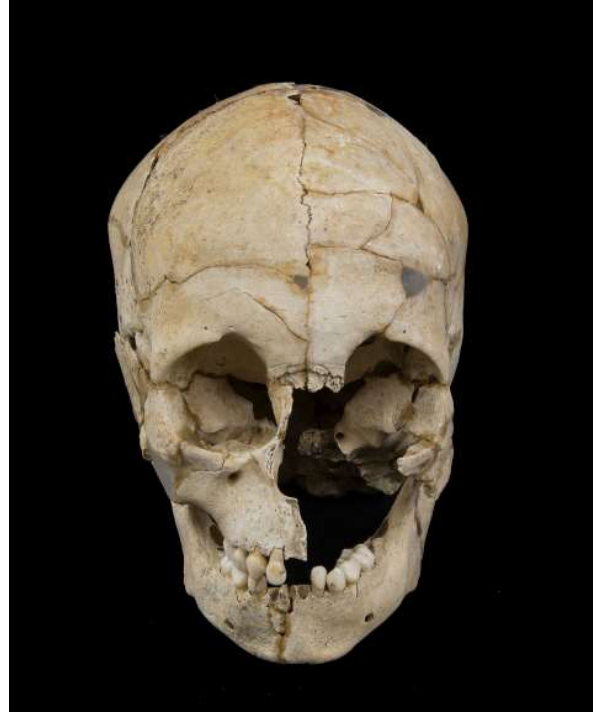
頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 5205-SK-1 (小児・7 歳前後)

(The 5205-SK-1 from the Yuigahama-minami site, juvenile)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 5205-SK-2 (幼児・4 歳前後)

(The 5205-SK-2 from the Yuigahama-minami site, infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 5205-SK-3 (幼児・3～4 歳)

(The 129-F from the Yuigahama-minami site, infant)



前頭骨 (The frontale)

由比ヶ浜南 5205-SK-4 (小児)

(The 129-F from the Yuigahama-minami site, juvenile)



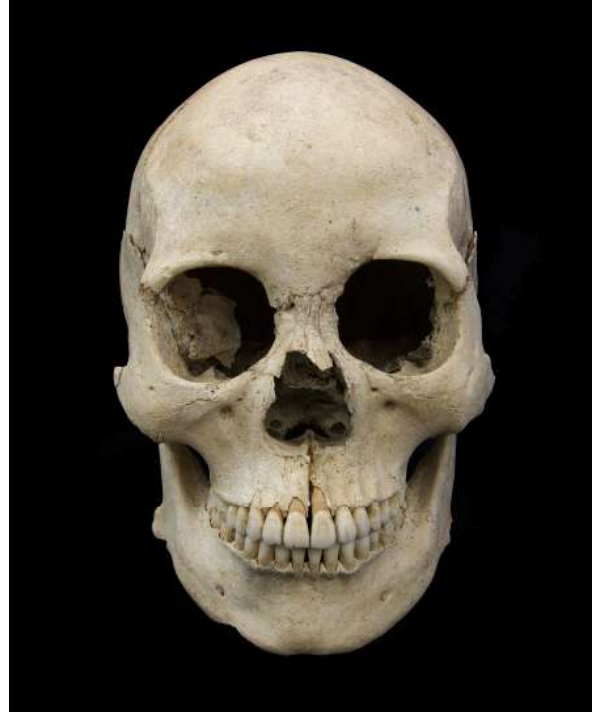
クリブラ・オルビタリア (Cribra orbitalia)

由比ヶ浜南 5205-SK-1 (小児・7歳前後)

(The 5205-SK-1 from the Yuigahama-minami site, juvenile)



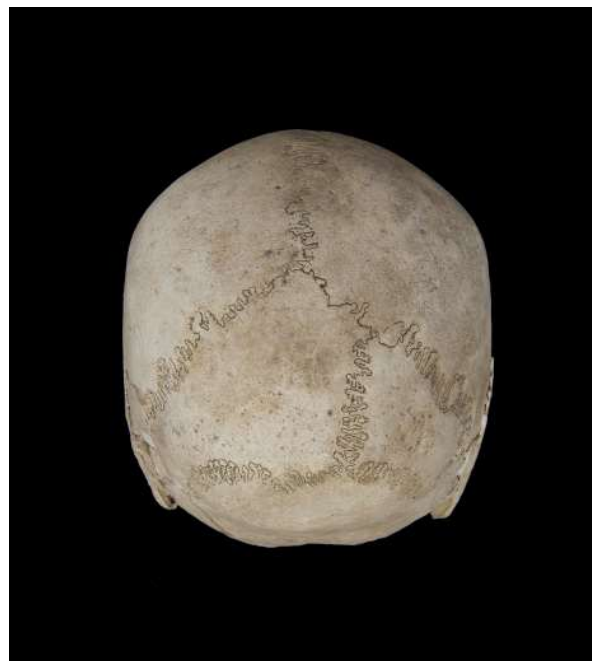
頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)



頭蓋後面 (Posterior view of the Skull)

由比ヶ浜南 5208-SK-1 (女性・壮年)

(The 5208-SK-1 from the Yuigahama-minami site, young adult female)



下顎骨 (The mandible)

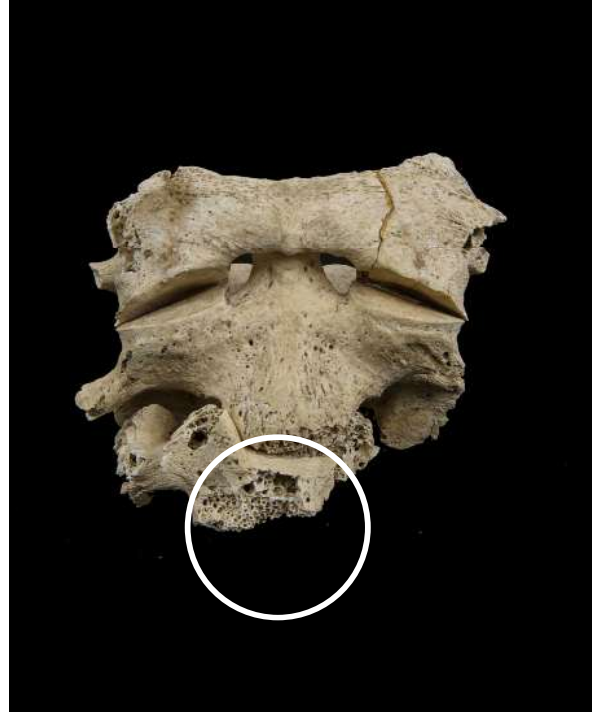
刀創 (Skull injured by swords)

由比ヶ浜南 5208-SK-1 (女性・壮年)

(The 5208-SK-1 from the Yuigahama-minami site, young adult female)

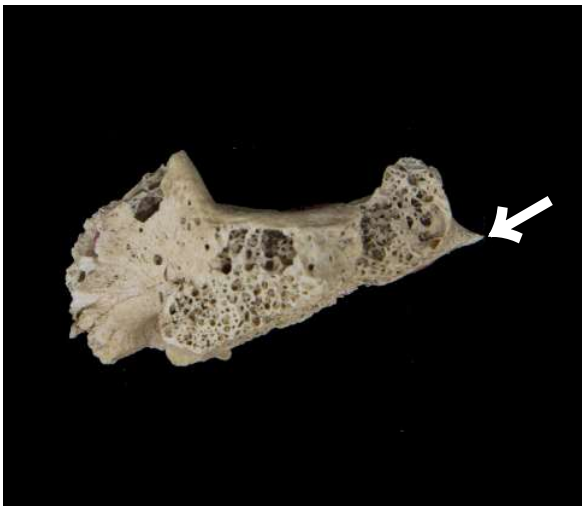


第二頸椎

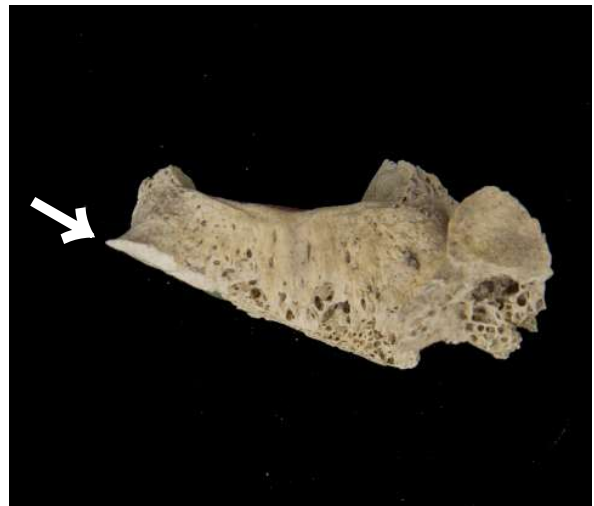


第一頸椎～第三頸椎

刀創 (Skull injured by swords)



第三頸椎 (前面)



第三頸椎 (後面)

刀創 (Skull injured by swords)

由比ヶ浜南 5208-SK-1 (女性・壮年)

(The 5208-SK-1 from the Yuigahama-minami site, young adult female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 5208-SK-2 (幼児・3歳前後)

(The 5208-SK-2 from the Yuigahama-minami site, infant)